京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價 本紙一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
廣告料 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日(日刊)
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久時一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社
電話大三番振替口座京城四五六番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

京城居留民團公文

京城居留民團規則第十三號

明治四十三年三月京城居留民團規則第一號京城居留民團工事ノ執行物件ノ賣買貸借ニ關スル規則左ノ通リ居留民會ノ議決ヲ經京畿道長官ノ認可ヲ得タリ

明治四十四年八月十一日

京城居留民團民長 古城菅堂

京城居留民團工事ノ執行、物件ノ賣買貸借ニ關スル規則

第一條 民團工事請負及物件ノ買入借入ハ豫定價格ヲ超過セサル最低價格ノ入札ヲ以テ落札人トス

物件ノ賣却貸渡入札ハ豫定價格以上ノ最高價格ノモノヲ以テ落札人トス

落札トナルヘキ價格ニシテ民長ニ於テ不相當ト認ムルトキハ再度ノ入札ニ付スヘシ

落札トナルヘキ同額ノ入札ヲナシタル者二名以上アルトキハ抽籤ヲ以テ落札人ヲ定ム

入札金額豫定ノ價格ヲ超過セシトキ又ハ入札者ナキトキハ三名以上ノ指定入札若クハ隨意ノ契約ニ依ルコトヲ得

第二條 豫定價格ヲ變更シタルトキハ更ニ第一條ノ手續ヲナスヘシ

第三條 左ノ場合ニ於テハ競爭入札ニ附セス隨意ノ契約ニ依ルコトヲ得

一、特殊ノ物件ヲ買入又ハ借入レヲナストキ
二、見積價格三百圓以內ノ工事並ニ物件ノ買入又ハ借入
三、見積價格百圓以內ノ物件ノ賣却又ハ貸渡
四、官廳又ハ公共團体ヨリ物件ヲ買入又ハ借入ルヽトキ

第四條 天災時變其他之レト同視スヘキ急施ヲ要スル場合ニ於テハ前各條ノ例ニ依ラサルコトヲ得

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二箇年間競爭入札ニ加ハルコトヲ得ス

一、工事又ハ物品供給ノ契約ヲ履行スルニ當リ故意ニ工事又ハ物品ヲ粗雜ニナシタル者
二、競爭入札ニ際シ價格ヲ競上ケ若クハ競下クル目的ヲ以テ連合ヲ爲シタル者
三、競爭入札ニ加ハラントスル者ニ對シ妨害ヲ加ヘ又ハ競落者ノ契約履行ヲ妨害シタル者
四、工事又ハ物品ノ檢査監督ニ際シ掛員ノ職務執行ヲ妨害シタル者
五、前各號ノ一ニ該當スル所爲アリタル後滿二箇年ヲ經過セサル者ヲ工事請負又ハ物品供給ニ際シ代理人、支配人、番頭若クハ手代トシテ使用シ又ハ入札代理人ト爲ス者

第六條 工事ノ請負又ハ物品供給ノ競爭入札ニ加ハラントシ若クハ其契約ヲ結ハントスル者ハ其ノ工事又ハ物品ノ供給ニ二箇年以來從事シ現ニ居留民團賦税若クハ直接國税年額五十圓以上ヲ納ムルコトヲ證明スヘシ

第七條 工事請負又ハ物件賣買、貸借ノ競爭入札ニ加ハラントシ若クハ其ノ契約ヲ結ハントスル者ハ左ノ區別ニ依リ現金又ハ確實ナル有價證券ヲ以テ保證金ヲ納ムヘシ

一、入札保證金ハ入札價格ノ百分ノ十以上
一、契約保證金ハ請負金額ノ百分ノ十以上

落札者其ノ契約ヲ結ハサルトキ又ハ其ノ契約ヲ履行セサルトキハ前項ノ保證金ハ民團ノ所得トスヘシ

第八條 工事請負及物件供給ノ契約ハ民長之レヲ擔當ス

第九條 工事請負及物件賣買貸借ノ契約人ハ自己ニ屬スル義務ノ全部ヲ第三者ノ一人ニ下請ケヲナサシムルコトヲ得ス

第十條 民長ハ請負工事竣功シタルトキ又ハ契約ニ依リ工事既濟部分若クハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ部分支拂ヲナサントスルトキハ特ニ檢査員ヲシテ事實ヲ調査シ其ノ調書ヲ作ラシムヘシ

但シ部分支拂ハ工事ニ付テハ其ノ既濟部分ニ對スル十分ノ七物品ニ付テハ其ノ既納部分ニ對スル代價ヲ超ユルコトヲ得ス

附則

第十一條 本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

雜報

福岡縣遠洋漁業團

福岡縣下の筑豐、豐前、筑後獎勵協會の三團體に於て從來經營しつゝある朝鮮海遠洋漁業に關する根據地の經營事業の監督を縣團體に移し縣監督の下に事業の經營をなすの利益なるを認め過日前三組合長及縣當局者は福岡市に會合し商議する所ありしが種々利害研究の結果曾て本紙が報せし如く其大體は縣團體に於て是が指導經營をなすを最も效果あるものと斷定し縣團體長には佐藤內務部長を副團體長には大島商工課長を推し縣水產係を以て理事に、從來の三組合員を以て評議員として諸般の業務を整理すると同時に朝鮮各根據地に專務監督者乃至囑託員等を設置し縣團體長指導の下に活動し根據地に於ける漁業の統一整理を督勵し前途益々多忙ならんとする遠洋漁業の大經營を最も有効に施設せんとするの方針を採れり而して是と同時に各根據地に於ける重要なる漁業及將來に於ける出漁家屋建設の計畫をも設計しありと

外事一束

△東鄕 大將新聞倶樂部の招宴に曰く身に餘る歡迎謝するに辭なし希くは此誠意を米國民に傳へよと恭謙は偉人の常德禮儀無き米民以て模範とせよ

△大統 領施政中の一大功蹟たる平和仲裁條約案上院に行惱む通商條約とは△影響 なしとタフト熱辯するも難關實に茲に在り然し上院遂に讓步を示せ

△米國 上院移民委員長提出の修正案は日本移民に支那人排斥法の稍寛なる△もの を適用せんと移民問題に就て此擧を敢てせば徹底的警戒を加[illegible]

△駐日 米大使オブライエン伊太利に伯耳義公使チャーレスブライアン來る

△スタ ンフォード大學總長ジョルダン博士平和運動の爲日本に來る米國は△東洋 移民を歡迎し日本は對米仲裁條約を結ぶは最も時宜に適すを說んと

△政府 彈劾案カーゾン卿の勸識にて上院通過す二百二十票の多數なる然し△上院 の彈劾は無力也政府は否認案に猛進せん採決期十日後ならん之對し△統一 黨首領バルフォア厄鬼りなり曰く皇帝をして罪惡的助言即貴族新造△の保 障を爲さしめしは憲法史上の大恥辱也我統一黨を率ひて內閣組織の△際は 此案を廢棄し上院改革を斷行すべしと酷熱渦中の激戰也遙に我此間の△一味 清風颯々たるを傾得す否認問題は議會政治の不可避的到達也議會の△先途 國民先に此關を經過せんとす

結局政治は常識なり英巧に範を示さん

△漢字 新聞[illegible]を掲げ日露同盟し滿洲の對外協同動作を約すと虛勿論

△北滿 國境露軍多く警報頻至す趙督此際黑龍總督ゴンダッチーと會せんと

△吉長 鐵道我出資二百二十五萬消費して十五哩成るのみ清總辨の橫恣に因△る完 成期なし我技師長會計監督無能也速に責務を明にし私腹を肥す勿れ

◎新刊紹介

△笑(八月號) 滑稽文藝雜誌として歡迎されをる本誌は例によつて色々の記事あれども大して滑稽なものはない樣なり(東京神田町一ノ四笑社定價十五錢郵税一錢)

△富の日本(八月號) 高橋是清の借金辨、澁澤男の日本の商業道德、此他志村源太郎、荘田平五郎、森下岩楠、粟山五郎作等の論各々見るべし(東京芝白金三光町四六二其社定價十二錢)

◎中央大學の新學年

同大學英法科は江木博士の發案に基き歐米の視察を了へて新に歸朝せる土方博士主となり大に刷新を加へ又法科は從來午前よりの授業のみなりしが業務の傍ら就學する者に便せん爲め同一科目に付二講座を設けて別に夜間の授業を新設して學生の都合により晝夜何れにても隨意に通學するを得せしめ。商科は東京高商の重鎭たる關博士の盡力により三年の星霜を經漸く本學年を以て完成を見るに至りしが學科其他極めて實際的にして特に其實習に付ては內外の商况に精通せる實業家に其擔任を托するが如き同大學一流の實用本位なれば世評頗る好良にして。經濟科も社會學政治學を加へて組織を變更し又特色ある同大學圖書館も世人の希望により今回公開する筈にて同時に新種類の書籍を購入する等一層設備を完全ならしむ由

俳句

●行々子(十句) 多田千春

渡し呼ぶ聲にとぎれて行々子
曳く船の網に亂るや行々子
船頭は鮭なるらし行々子
つないだる船に人なし行々子
苫船の夕茶煙りて行々子
行々子收量家に戻りけり
親子して網干す門や行々子
よく聞けば松も響あり行々子
妻叩く小家の裏や行々子
行々子風に物言ふ日なりけり

召使れ初 第百二十九回 默法師



「若江樣は正直、この橫着兒に御贔負を爲されまするが、知れた物ではござりませぬ」口は重疊、什麼を申すか、と相生は濁き唇を顰しつゝ「兄が參つたといふも僞りでござりまするの、父大病と云ふも、無い事でござりまするわの、察には深う云ひ交した者があつて、今宵の約束反古にせんやうも無く、肉身の兄と僞つて、あらぬ者をさし立て、內密約束を致したる相違でござりませぬ、親の爲に命捨てる者は無いも、男の爲めには二つとない命捨てゝ心中立てる者もある世、察も其類でござるわの」

「聞き捨てにもならぬ今の私詞、現在阿兄が參つたか參らぬか、私取調べになれば分る事、慮外ながら左樣な心持つ者ではござりませぬ」とれ察は色を作して云ふ

「そなた如何ほど[illegible]ふた父御健康、れ小屋に[illegible]



するが、何よりの證據で無いか、四の五の入らぬ、此事具にれ役人衆へ披露きつと詮議致さうわの」と相生は疊み掛けて、「若江樣思召しは何うでござりまする、斯樣に歷とした證據ある上あなたれ慈悲も立つ處ないでござりませう喃」

されど若江は深くれ察を信じたりき深くた道の性質を信ずるが故、それに召使はるゝれ察にも、微塵道に外れたる事あるまじと信じたりき、松田助入遂く毛利甲斐守殿れ小屋にあり、九死一生の大病といふは、痕跡もなき僞りと聞きたれど、れ察がそれと深く信じ、事實がそれと正反對なる事は、必ず何歟の事情あるならんと察しぬ、の事情判明せずは、れ察の身に掛る疑ひ解けまじく、平生にも似ず、た察の大それた大罪を犯したる不思議の因緣知る時なからん

但心得難きは、肉身の兄助藏、わざ〳〵れ廣敷對面の間に來り、親しくれ察に面會して、實父大病の事を云ひ入れたる事なり、もしれ察を深き陷穽に突き入るゝ爲め、此の狂言仕組まれたる者とせば、兄の助藏も又鎌臺の上にたゝ[illegible]まづ此れより詮議せ[illegible]江には斯く思ひ付きて[illegible]を向けぬ、彼の聲は鋭

けれど情あり「れ察の兄助藏、昨日れ廣敷へ參りしといふ、うれに相違あるまい喃」

「毫も相違でござりませぬ、私の此の眼證人でござります、私の此耳證人でござります」

「ちやがの、そなた父御、大病と云ふは僞り、恙くれ在でといよ、これはれ役人衆毛利樣れ屋敷へれ越し、親く御覽なされた事ぢや、するとそなた兄御前、無いことを有るやうに云ひ做し、うなたを欺きに來らせたと見ゆる」

「什麼とも合點參りませぬ」

「一應助藏どのに逢ひ、うの主意聞き糺し參るかの」

「兄に逢ひたうござります、兄に逢ふて肉身の心を欺いた仔細聞きたいでござります」

「そゝ、爾うあらう」と若江は領き、然し、他家御家人、これへれ呼び寄せ申す理には參らぬ、誰人か付き添ひ、うなた同道、毛利樣へれ小屋へ參るぢや、「何れへでも參ります、身にかゝる疑ひの雲晴らす爲めには何れへでも參ります」

「いや」と相生は進つて「そりや爲りませぬ、不義の大罪ある女、此まゝ外へは出されませぬ」

「さらば相生樣、私申し上げる事に、御同心はござりませぬな」若江はきつと問ひ掛けぬ

東京電報

●總督府と官制 朝鮮總督府には其官制中各部の規模過大にして手足之に伴はざるの嫌ひある等内議は漸く一通り右に關する調査を爲したる上以て不日改正の問題に附し而して官制改正の根本となる事となれり而して官制改正の結果として總督府各部長官の大半は更迭し所謂其高等官中三割は罷免せらる可しと云ふ

●兩相會見内容 寺内總督 [illegible]

●米價騰貴策 期米市場 [illegible]

●明石氏と參謀長 [illegible]

[illegible]一ケ月を要すべし

●日露戰役間私有財產問題 日露兩國間に交渉中なる戰役中に起れる私有財產問題並に其他の懸案は其手續未了の所もあれども事實に於て全く解決を告げ全般に付ては既に決定したれば遠からず發表の運びに至るべし

雜報

●昨今の暑氣 入暑以來一時平年より稍冷氣を催したるが其後全國一般漸次平年と大差なきに至れり

●總督府の豫算編製期 明年度豫算は既に各部局に於て編製を終りて度支部に廻付濟となり目下同部に於て審查中なるが其全部編製を終り提案の上決定するは九月下旬なるべしと云ふ

●豫算增收科目 來年度豫算に於て增收の見込ある科目は[illegible]たるが尚は其の精細なるところを聞くに左の如し

一[illegible] 九十五万圓
一[illegible] 三十萬圓
一[illegible] 二十五萬圓
一[illegible] 五十五萬圓
一[illegible] 四十万圓
一[illegible] 五十萬圓
合計 [illegible]百九十五万圓

[illegible]精確なる豫定にして[illegible]數字と大同小異の模樣[illegible]決ては收入に伴ふ工事付屬金は之なしと云ふ

●人蔘需要と產地 開城 [illegible]人蔘生產高は八百斤[illegible]豫定なるが之れを從來[illegible]して少量なるは以前（[illegible]）に於ける蔘政制度の弊[illegible]もしのなり由來人蔘は[illegible]務を經て收穫期にいたる[illegible]日子を要するを以て[illegible]紅蔘の手に歸してより[illegible]に屬するものは一回の[illegible]耕作を繼承するに過[illegible]人蔘を收穫するに至る[illegible]年頃にいだちは僅に[illegible]萬斤の人蔘は專ら滿[illegible]なるが價格は一斤平[illegible]三萬斤に換算すれば[illegible]價格に達すべし而して[illegible]於ける需要高は朝鮮に[illegible]萬（三萬斤）とも併せ[illegible]が之れが內譯は滿洲[illegible]價額は滿洲產は一斤[illegible]地產二十万斤亞米利[illegible]斤六七圓亞米利加產[illegible]なるが參質は到底開[illegible]く又開城產は高麗產[illegible]豪又は貴族にあらざれば用ひずとの事なり

●內地人實查數 京城 從來京城民團にては居留民の屆出でを待ち增減加除するのみなりしを以て屆出數と實際數とは多大の相違あり依つて之れが實際數を調查せん爲め最近臨時調查員を設け京城區內に三十一名龍山區內に九名を割付け爾來調查の結果確實なる戶人口數を見るにいたりたるが京城區內に於て戶數九千五百八十八戶人口三萬三千六百二十八（男一萬七千九百十六人女一萬五千七百十二人）龍山區內に於て戶數二千九百〇九人口九千六百二十五（男五千百七十八人女四千四百五十五人）合計戶數一万二千四百九十七人口四万三千二百五十三（男二萬三千〇八十六人女二萬〇百六十七人）なりといふ

●春秋會例會 當地新聞 通信記者中有志諸氏の組織に成る春秋會は十三日午後三時より其八月例會を萬千閣に於て開き目下來京中なる京都大學敎授法學博士末廣重雄氏を招待し歡迎の宴を催したり席上末廣博士は語つて曰く

自分が本日此席へ罷出ましたのは敢て自說を吐露する爲ではなく主として諸君の御高話を拜聽する爲であります、トコロで自分は漸く兩三日前御地へ來ました許りて事物も半島に關することは諸君の敎を受けねばなりませぬが、只だ一ト自分が諸君の御參考にも申上げて置きたいのは來遊外人の待遇に就てであります。自分は先達て米國の或雜誌に載つて居た一米人の朝鮮旅行記を讀みました、而して此旅行記中にドウ云ふ事が書いてあつたかと云ふと在半島日本內地人が朝鮮人を壓迫するの一例として南大門停車場に於ける人力車の立場の事が書いてあるのであります。旅行記記述者曰く自分が南大門驛へ着き汽車を降りて人力車へ乘ろうとすると、驛の前には日本人の營業する立場ばかりで朝鮮人のがない、ソコで朝鮮人のはドコにあるかと傍人に聞くと半町許り離れた處にあると云ふ、因つて自分は雨中をも不構步して半町程行つて朝鮮人の立場から車に乘つた、其時斯くしたのは自分許りでなく一外國婦人乃ち自分の連れにあらざる一外國婦人も同樣にした。サテ自分等がナゼ驛前にある日本人の立場から車に乘らず、態々半町程さきの朝鮮人の立場から乘つたかと云ふに、之れは自分が日本人の爲に營業上機會不均等の取扱を受け壓迫を蒙りつゝある朝鮮人に對する同情の念の止み難いものがあつたからだと。此旅行記の記者は有名な人で、此人の書いた物は米人が信用を置いて讀むのであるから、事の眞僞は別とし、コンナ事を書いて發表されるのは日本の爲に決して利益ではない。

私共は現在京都に於て平和協會をやつて居ります、而して同協會の事業の一として、京都に來る程の著名の外人を招待し、種々の方法を以て意志の疏通を計つて居ります、で、其結果はと云ふと、彼等歸國の后ちはあまり日本の惡評など新聞雜誌等に公にせない樣であります、ソコで自分の考では御當地でも一ト平和協會と云ふ樣なものを設けになりまして、來遊外人と意志の疏通を計られる樣になされたなら、幾らかは利益になるであらうと思はれます。

夫より博士は露國と同盟の風說さわる今日半島に二個師團を新設するの不用なるを說き、續いて鮮人の高等敎育問題に付ては彼等をして其欲するがまゝに內地の諸大學へ行かしめ役人希望の者あらば高等文官試驗を受けさせ高等官に採用して可なりと云々、と語られたり當日主客間談話の主題は鮮人の同化問題にありしが各自意見を交換し歡を盡して散會したるは午後八時なりし因に末廣博士は二十日まで當地に滯在の由なり

●內地人宗教別 京城 最近に於ける京城民團內地人の宗敎別を揭ぐれば神道千五百四十二名眞宗一萬九千三百三十七名禪宗六千四百三十四名淨土宗五千〇四十五名法華宗三千四百八十八名眞言宗三千〇二十九名基督敎一千〇〇九名天臺宗六百二十二名天理敎三百五十一名金光敎七十六名宗派不明のもの二千三百二十名合計四萬三千二百五十三名なりといふ

●學校認可近し 增設 既報の如く京城民團にては十五萬圓の豫算を以て龍山と鍾路に各々一個所の小學校々舍を設け尙他に櫻井小學校の建增を爲すべく其の筋に申請中なりしが右は一兩日の中に認可濟となるべくさすれば早速工事に着手し十一月中に全部工を竣へ豫定の如く十二月一日より授業を開始すべしといふ

●平安道と度量衡 平安南北道方面に於ける新度量衡器は去る七月一日より實施する事となりたるため其實施に先ち其使用方法及舊度量衡が亂雜にして弊害多き事又は度量規則違犯の罰則等は說示のため出張中なりし深田囑託は約七十日餘を其說示のため費し歸任したるが聞く處によれば同方面に於ける一般人民は同囑託の懇話により て大いに新度量衡を使用する事の便利なるを感知したりと云ふ因みに平安南北道には是迄新式度量衡器は全く使用せられざりしと云ふ

●土地臺帳と從業員 本年十一月頃より土地調查局にては業務の進捗につれて土地臺帳の調製に着手する筈なるが此場合には多數の從業員を要する筈にて若し鮮人事務員の如く十圓乃至十二三圓の月級にて從業するを希望する內地人あらば勿論當局にては喜んで使用すべし到底かゝる薄給にて勤務するもの少なければ勢ひ其數は鮮人を用ふるより外なからんと云ふ

●水害地の播種 慶尙南道河東郡にては過般の大洪水により浸水甚しく作物概ね腐蝕したるを以て同郡に於ては之が救濟の一手段として水害地に籾の播種を實施する事となり郡內資產家に諭して籾種の貸付をなさしめたるが其總計百九十八石に達したる由而して配付を受けたるものは無利息にて借受け置き收穫時期に於て返濟せしむる筈なりと云ふ

●間島電信遲延 鮮滿 頃日滿洲地方は雨期に際し熊岳城橋頭堡に至る一帶の地域を界とし以北は殆んど通信杜絕し電信線も他線を代用するに至り大連奉天間は一線により送信をなす有樣なるより電報堆積甚だしく殊に迂回線に依らしむる朝鮮滿洲間の電報は自然遲延を免れずといふ

●內地兒童の教育 最近調習に係る在朝鮮內地人尋常高等小學校の校數及び生徒數を揭ぐれば京畿道十四校生徒數五千四百七十五名（男二千八百九十八名（女二千五百七十七名）忠淸北道四校生徒數百七十二名（男九十二名（女八十名）忠淸南道十四校生徒數六百二十三名（男三百二十六名（女百九十七名）慶尙北道十二校生徒數九百二十五名（男四百九十名女四百三十五名）慶尙南道三十四校生徒數四千百四十九名（男二千三百二十五名女千八百二十四名）全羅北道七校生徒數六百五十二名（男三百四十九名女三百〇三名）全羅南道九校生徒數六百十三名（男三百〇五名女三百〇八名）黃海道七校生徒數三百〇七名（男百五十八名女百四十九名）江原道二校生徒數四十六名（男三十名女十六名）平安南道五校生徒數千〇七十八名（男五百七十九名女四百九十九名）平安北道九校生徒數三百三十五名（男百八十四名女百五十一名）咸鏡南道六校生徒數七百〇六名（男三百六十七名女三百三十九名）咸鏡北道五校生徒數三百八十三名（男三百二十名女百六十三名）合計百二十八校生徒數一萬五千四百六十二名內男八千三百二十一名女七千百四十一名なりといふ

●日韓瓦斯會社增資 既報の如く日韓瓦斯會社は去る十二日東京に於て重役會議を開き從來の資本金三百萬圓に尙は三百萬圓を增資し都合六百萬圓となすの件を可決したりと

●瓦斯電氣本社 日韓 日韓瓦斯電氣株式會社の本社は從來東京にありしが同社營業の便宜上近々當地に移すならんとの事なり

●江華島害虫驅除 京畿道江華島に於ける松葉蠶食の害虫驅除は其后引續き督勵の結果江華、喬桐兩郡に於て客月二十日乃至同末日十二日間の害虫捕取高九十七石四斗七升にして前後通計百四石一斗二升の多きに及べりと

●群山の水道工事 群山の水道工事は既に其設計を了はり工事費の半額は總督府より補助し民團の事業として着手する事に決定したる由なるが來年度總督府豫算に該補助金額を計上すべしといふ

●紀念日と市中 既報の通り來る二十九日は朝鮮併合一週年紀念日に相當するを以て京城民團にては市內各戶に對し國旗球燈を揭揚すべく諭達すべく尙當日は市民の催しに係る餘興等ある由なり

●在監囚徒數 司法部調 查に係る七月末日現在朝鮮各監獄に於ける在監囚徒數は總計八千九百八十九人にして前月のそれに比し四十九人の增加を見たる次第なるが今之れを內外人別に記せば內地人七百〇六人朝鮮人八千百五十二人外國人百二十一人にして以上は既決及未決の囚徒全部を包含したるものにして外國人の百二十一人とあるは其の多くは淸國人の賭博富籤賣買等輕微なる犯罪なりと尙は以上の外勞役場に留置內地人男四人携帶乳兒鮮人九人ありと云ふ

●敍任及辭令 總督府判事江藤爲久氏は咸興地方裁判所判事に同平島英太郎氏は高等法院判事に通信局技師松浦圓四郎氏は通信局電氣課勤務に、技師入尋生男氏は農商工部殖產局農務課勤務に技師河村泰治氏は內務部地方局土木課平壤出張所長に何れも命せらる

●朝鮮電氣瓦斯總會 朝鮮電氣瓦斯社は來る二十八日東京本社に總會を開き決算報告、損益對照、利益配當等を行ふ筈なるが今回は實際の利益配當をなさゞる由

●小松氏の東上 小松總務部長官は慢性腸胃加答兒に罹り右療養の爲め十五日午後十時四十分南大門驛發約一ケ月間の豫定を以て東上の筈

●末廣博士發期 目下滯京中なる末廣博士は尙は四五日當地滯在の上滿洲方面へ向出發すべしと

●澤代議士來期 目下大連及滿洲各地を視察中なる國民黨所屬宮城縣選出代議士澤來太郎氏は本月二十日頃來鮮すべしと

●京都商品陳列所長の入京 京都市立商品陳列所長丹羽圭介氏は十三日入京す氏は農商工部商工課の囑託を受け當分商工調查に從事する由なり

●藥師川隊長歸任 藥師川京畿道憲兵隊長は忠淸南道警務部に於て管下各憲兵分隊長及警察署長を召集し會議を開きたるに付事務上の打合せ其他の爲め出張中の處十三日夜歸任せり

●呼子警視の歸省 昌德宮警察署長呼子友一郎氏十三日朝南大門發鄕里長崎縣に歸省したり

●村田分隊長歸京 管內巡視中なる村田京城第二分隊長は十五日歸京する由

●機關庫員共和會 南大門驛機關庫長藤田武雄氏の發起にて鐵道技術の研究を兼ね共和會を組織し十三日南大門驛舍內に於て發會式を擧行したり會するもの二百餘名にして會長の選擧を行ひたる結果藤田庫長當選したり

●慶北の降雹 去る三日慶北英陽郡に時ならぬ降雹あり邑內面外五ケ面に於ける農作物中煙草綿花は殆んど折損じ收穫の見込少く其の他の作物も被害尠少らずと

●學校職員と乘車割引 鐵道局にては日本內地の例に倣ひ今回在朝鮮官公立諸學校準公立普通學校及總督府指定又は補助學校職員に對し每年夏季及冬季の二期間即ち七月十一日より八月三十一日まで十二月二十日より一月七日迄朝鮮の全線に涉り三等列車に限り五割引乘車せしむる事となりたり

●慶北の警署長會議 慶尙北道憲兵隊長警務部長は來る廿一日より管內分隊長、署長を招集し明石總長訓示の本旨に基き訓示及會議を開く由

●七月中釜山通過旅客 七月中釜山港を通過し日本への旅客數は六千九百八十七人支那は二十一人浦鹽へ一人合計七千九人にして又日本より朝鮮に來りしもの七千九百九十三人支那より二十四人浦鹽より四人合計八千二十一人而して日本行旅客の內六千八百五人は日本人、日本より來鮮の旅客中七千六百七十七人は日人にして他は鮮人なりと

●成北の種牛配付 咸鏡北道にては畜牛改良の目的にて今回純良なる種牛十數頭を購入し各郡に配付したり

●銀行券發行率週報 八月六日より十二日に至る韓國銀行貨幣發行高如左

發行平均高	二二、六四七、五七一
內 正貨準備	七、七四八、九一八
保證準備	一四、八九八、六五三

▲公人私人▼

▲中村秀夫（釜山地方裁判所判事）十三日不知火へ
▲秀島浩一（辯護士）十三日天眞樓へ
▲鮎川克己（三南新報社々長）十三日不知火へ
▲丹羽圭介（京都商品陳列所長）十三日天眞樓へ
▲富家正義（參政課技師）十三日泉金へ
▲小鹿島饒（殖銀支配人）十三日開城行
▲杉山弊（平安南道憲兵隊副官）十三日入京

▼京城手形交換高▲

月日	金高	枚數
八月十四日	一五六、二二八、九八〇	五六二

▲治外法權▼

寺內總督が入京した、嗚呼桂內閣の命や旦夕に迫る▲茲に面白いのは東海道の汽車中で、總督が東京朝日の記者に語つた事で、其一節に曰く、物には生きるときがあれば必ず死ぬるときがある、ダカラ生きてる者が死んだからとて何も不思議はないと▲總督の此言や明かに內閣の更迭を語れるもの近く政變があつたとて何も不思議はない▲總督亦た朝日記者に語つて曰く京城に居る君の方の岡野先生も大分餘鋒を斂めたようだ、近來は大人しくなつて居ると、アー岡野先生とは彼の有名な寺內總督論を公にした告天子の事で、予が總督にとつて苦手であることは、總督が予を呼ぶに特に岡野先生と云ふのでも判る▲牧師團が歸つて來た彼れ等の或者の曰く、自分共が內地に行つたら、各派の信者が合同して歡迎して與れることゝ思つて居たら、實際歡迎して與れたのは只だ組合敎會許りであつたのは、不思議で堪らなかつたと▲又曰く自分共は結構と云ふ日光やら、其他の名所やら大建築物やら等を見せられたのは滿足であつたが、伊勢の太廟へ參詣の出來なかつたことは千秋の恨事と▲新設朝鮮煙草會社の株式證據金拂込金に關し、種々面白からぬことの聞ゆるのは苦々しい話だ▲右發起株式引受者中一人の曰く、自分が發起人となり株主となるのは重役になるが爲めだ、故に若し重役にせぬなら、發起人も株主もヨスト▲今や各警察署は米價の調查で繁忙の樣だ、警察の刑事が犯罪者の搜索の如き消極的の仕事を廢して、新たに積極的經濟の方面に活動せんとする手始めに米價の調查に掛つたのは、前代未聞で結構な事だ。

▲京龍兩驛の賃客▼ 乘車客 三〇七 降客車 三四九[illegible] ▲十月寄付十三圓▲最高十三圓十三錢



京城 藝妓の半生 翡翠樓のお染

お染は藝妓らしい藝妓で一度でもお座敷へ一座した方を決して忘れない物覺への善いこと此の上もなく途中で逢つても愛嬌を振り撒いて居る、何分歳が十八とあるので藝は大した事はないが踊は一人前は演る、流儀は中村か市川か水木か西川か藤間か杉山か神影か神兎二刀か夫れは明瞭でないとは即ち不判んお客の云ひ分だが兎に角可愛い〳〵悧巧者である、彼れは**横濱羽衣町**一丁目三十六番地木村ちきと云ふ人の養女で名は**はつ子**と云つて**襁褓の上から親不知で貰**はれたものだ、敢て我輩は彼れを泣せる――即ち思ひ出させる理由ではないが實父母の顔はさて置き其の名さへ知らないんだ何うした因果の日の下に生れたものであらうか、彼れは生れた時から藝妓たる可き運命を持つて居たと見えて彼れの養母は藝妓たらしむべき考で貰ひ受けたのだ五歳の時から踊を仕込まれ八歳の時土地の何家からか雛妓で出が**十四歳**にして**芳町**に**仕替**られた此れとて誰れの爲めであつたらうか判つたものでない十六歳の秋に**深川木場**の材木商**高木**某に**落籍**せられたが或る事情……斯る場合の事情と云ふものは多く**實家からの無心に原因**するのだがお染のは何うだか知れぬが其の或る事情の下にお暇となつた際に堅氣に成れよと紗ならぬ手當を貰つたのだが夫れは右から左に養母の手に入つて總つて其の年の五月下旬翡翠樓に抱へられて六月上旬から憂き勤めを再びする事になつた、けれども天性の悧巧者とて而も無く流行妓の一人とは成つたが年齡が若い爲だらうマダ此れと云ふ旦那が無い惜の面**小松縁**君に贔負に成つて居たもの〻此れは又時低が甚だ無氣味になつて來てチーベルの音がガチヤ〳〵と鳴らなきや夜も日も明けないと云ふ始末になつたのでアバヨとも云はずに斷はれた後は**ホホキノカミゲンヂ**君に緑見を頼んだが此れは名だゝる箒である一寸の間で駄目になつた併し今でも切れたとも切れぬとも付かず離れずのお客が一人ある、お染の腕は此れに依つて驗されんとしつゝある、其のお客は正に辨護士であるが名を書くと切れる虞れがあるから預つて置く 確乎しなまし染コウ

●木挽の殺人未遂

▽人の妻に思を掛けて

十三日午前一時半頃京城南大門通り一丁目に殺人未遂事件ありたり被害者は香川縣人當時南大門通り一丁目一番戸居住木挽職**木村喜次郎**（四二）にして加害者は同居せる木挽職大分縣人**原清**（三九）なるが今犯罪の原因及動機を聞くに被害者喜次郎は豫てより明治町二丁目請負業小杉組の仕事に從事中本年三月十五日詐欺取財被告人として北部警察署に檢擧され京城地方裁判所に於て懲役四ヶ月に處せられたるより留守中に於ける小杉組の下請に係る仕事其の他萬般の始末を同居人たる加害者清に托し永登浦監獄にて服役し本月十日滿期出獄歸宅したるが然るに附近の者は勿論知己友人等より清は留守中**賴ぬ妻**をも世話して互に怪しき間柄となり居れりと聞きて**不滿**に堪へず翌十一日清に對し留守中に於ける**清算**をせよと催促したるに清は帳簿を持ち小杉組にて清算す可しと稱し外出したる儘十一日は歸宅せず十二日朝歸り來りたるより喜次郎は清算は如何となりしかと問ひたるに帳簿を小杉組に忘れたり夕刻計算す可しと言ひて外出したる儘夕刻になりても歸り來らざるより喜次郎は妻と共に床に付き寢物語りに半信半疑で内縁の妻櫻井ふさ（三二）に尋ねたるに怪しき事は毫もなきとの事に安心して夫婦とも白川夜船に眠り居りたるに十三日午前一時半頃清は喜次郎宅に歸り見しに喜次郎等夫婦**睦まじげに寢**ね居たるを心よからず思ひしが外より**七斤餘の角石**を持ち來り喜次郎の頭部に投げ付け其の儘逃走したるが喜次郎は痛を感じ目覺したるも**出血甚**しく殊に痛みの爲め追跡する能はず妻をして警察に急報せしめ醫師を呼び應急手當を受けたるが一方南部署にては**非常線**を張り犯人逮捕に着手し十三日午後遂に逮捕し關係人を取調べたるが内縁の妻櫻井ふさ子（三二）の申立に因と**色情の關係**ありしもの〻如く推せらるゝより喜次郎等が睦まじげに寢て居たるを見て突然殺意を起したるならんと

●仁川の女房斬

▽女房の不貞から

原籍熊本縣天草郡當時仁川本町三丁目四番地の一漁夫中平太郎（三八）及び原籍愛媛縣越智郡當時前記平太郎内縁の妻按摩業永井ちか（四四）は昨年來各一戸を構へ新町一丁目天井通關所の裏手に住み居りしが十月頃より互に情を通じ果ては夫婦氣取りで面白可笑しく暮し居る内前記のところに世帯を持ちたるがチカは元來**浮氣の質**とてトチモ平太郎一人では我慢が出來ず二三の**情夫**を拵へて亭主の留守を覗つては交る〳〵情夫を家に引摺り込み他愛もなく巫山戯居る事何時しか平太郎の耳に入り夫婦喧嘩の絶ね間とはなかりしが話し變つて去る九日の夜平太郎は毎時の如く外より歸り來ると毎時より早く奧の部屋に蚊帳が吊りあり而も驚くまいことか其蚊帳の中から**四本の足**がニユーツトのたばり出で居るより平太郎は氣も狂せん斗りに吃驚し嫉妬の血相物凄く傍らの鉄をオツ取るが早いか忽ち蚊帳の内に跳び入り「己れッ淫婦女奴」がといふ聲諸共にチカの**面部に斬付**けたればチカは不意を打たれて非常にうろたへ同時にチカと同衾中なりし情夫は裸体のまゝ逃げ出したるが跡は近所の人の仲裁でヤッと事濟みとなりしと

●六〇六號に就て

▽森安博士の言明は誤聞

過日本紙が「危險なる六〇六號」の記事を掲ぐるや病患者は此れを絶對に危險なるもの〻如く思惟し其の注射を避くるが如き傾きある由なるが右は極めて愚なる考へにて内臓に異狀あるものが本藥の注射を忌避せざる可らざるは當初より明かにされたる注意事項なりしを中には六〇六號の恩惠に與らんことを希望するに急にして醫師診斷聞取りに虚僞の應答をなせしより餘病を惹起するなり自己の體質内臓器の驗診を嚴重に且つ正直に受くれば危險の伴ふものにあらずとぞ念の爲め一言するものなり因に總督府醫院森安博士が同藥の効驗に就て云爲せられし如く記したるは誤聞なりしことを附記す

●猛虎現はる

▽少女噛み殺さる

客月二十日夜全羅南道靈巖郡昆一始面學坪里居住金聖化三女（七）は同自宅前なる納涼臺に就寢中猛虎一頭襲來し少女は噛み殺され又同村鶴溪里に於て飼犬一頭奪去されたりと

●龍山の鐵道自殺

十一日午後十一時五十分頃龍山白濱町鐵橋附近に於て進行の列車目掛けて線路に飛び込み鐵道自殺を遂げたるものあり龍山警察署より竹村部長醫師と共に現場に出張檢視を遂げたるが住所氏名不明に付龍山民團役所に於て引取り假埋葬に付したるところ其後探聞する所によれば此者は龍山山下町八十番戸豐田實藏方に食客せる長崎縣南高來郡守山村前田新一（六十）なるものにして同人は昨年十一月より本年二月末まで京義線長湍驛の驛夫を勤め居りたることあり平素頗る神經質の男にして常に自分の身の不幸を嘆き厭世主義を抱き居りたる由にて前記豐田氏方にては十三日民團役所より新一の死体を引取りたりと

●曲者遂に白狀す

既報原籍新潟縣中蒲原郡中津村當時仁川住所不定中田太郎吉（二九）が仁川署に捕縛せられ其後取調べの結果罪狀を悉く自白せしが言ふところに依れば五月末頃龍山元町附近及龍山八景園に忍び入り衣類數十點及大工道具類を竊取し續て七月初旬京城西小門外屠殺局官舍に忍び入り衣類數十點を竊取し柳行李のまゝ擔軍に負はしめ直ちに陸路仁川に來り更に二十二日仁川京町一丁目柳田館方にて衣類數十點價格百五十餘圓のものを竊取したりとの事なるが尚餘罪ある見込みにて嚴重取調中

●電氣技手の溺死

京城北部苑洞九統十戸日韓瓦斯電氣株式會社技手玄矩本（二九）は十一日午後四時三十分頃龍山麻浦船橋より東方三丁の位置に於て遊泳中誤て溺死したるが翌十二日午前五時死体を發見したりと因に同人は昔て東京高等商業學校出身なりと

●拾得と遺失

仁川本町一丁目大井奥三郎は十三日午前七時半頃仲町二丁目一富士の附近にて一圓二十六錢五厘入の革財布を拾得し屆出づ又仁川京町一丁目河村鶴助は十一日午後六時四十分頃京町魚市場附近にて金二十圓入の財布を遺失す

●英國産犬と鰐

獨立門通り二丁目吉村某は本月七日頃名古屋より丈九尺餘の鰐一尾及英國産犬を連れ來り飼養しつゝあるが犬は藝を試み目下宮内府に買上方懇請中なりと

●取消

明治四十四年八月九日貴社發行七百五十一號第三面中の記事「編上靴を盗む」の記事は事實に相異の嫌多ければ御取消相成度此段及申込候也

明治四十四年八月十三日 京城御成町四番戸川本商會 扇秋吉淺太郎印

京城新報社御中

●演藝だより

●壽座　大坂二〇加十五日の代狂言は三つ巴、西洋洗濯、廓のにぎはひ、裏の裏等にして二十錢均一なる由

●浪花館　浪花虎峰女一行の浪花節

京城 花柳評判記（七）



（藝者乙）　さて其次は江の島の岩本院の稚兒あがりツて處ですネ、こう成りや言ひますよ、と言はなきやれ酒が飲まれないつてんでしよう、御免なさいうでもして頂戴、打てば理解がわかるならつて事がちやんと都々逸にあるんだから、賴んますせ屁無猪口……いやだ〳〵何んだつて京城ところへ來ちやつたんだろうネ、思ひ返せば十二の年でんですネ、神田の親類から招ばれて、お母親と二人で**明神樣**のお**祭禮**を見に行つたのが抑々、**花笠**を**肩に掛**けて**男髷**が**烏渡横へ傾**で、目の覺める樣な**友染の襦袢、黒骨牡丹の扇**で六月のお太陽さまをまぶしく相によけて居る姿のいゝつたら無かつたわ、子供心に藝者に成りたいと其時泌々思つたのが、因果だつたネ、今じや京城でひーだり褄ッ、なんてよか〳〵飴みたいな事を言ふ樣になつちや藝者も末だわ、不憫だと思つたら助けてちやうだいと平假名で賴むわ、其樣事はどうでもいゝとして泌々つく〴〵考へて見るのに京城くらいお客らしいお客の居無い處は珍らしい子、と言ふと怒る人もあるだろうがお計りは現金懸値なし、正に判然と左樣なんだから仕方がないわ、つまり遊興と言ふ事を知らないんですネ、なんですつて、誰れが一番お金を使ふかつて、左樣ねエ、京城に居る人じやお料理屋へ月々極まつて百圓以上の拂ひがあるなんて云ふのは數ある程しか無いわ、矢張り田舎から時々京城へ出て來る人にある樣ですネ、先づその横綱と言ふ處は**鐵山師**の**三上素隆**さんでしようネ、現今はあんまり使はなく成つた樣ですがあの人が浦尾旅館へ泊つて居る時なんぞは、一晩に千圓位遣つてしまう事があるわ、**花月が定得意**で毎晩**藝者の總揚**げをして**網**曳だの**鬼ごつこ**をさせるのが好きで勝つた者には一々懸賞で香水だの反物だのを出したものよ、花月にはちやんと網曳に遣ふ紅白の綱が出來てる位だわ、別にどうと言ふんじやないが嗇つかうのネ、こんなのを稱してお紙幣の化物と言ふんだわ、三上さんに續いてはサア誰れでしようネ、先づ鎭南浦で安岳鐵山を持つてる**麻生音波**さんですかネ、もとの花月の艶子さんや、此頃お味噌をつけた翡翠の右女助さんなんぞが御親類で、此人も京城へ出て來ると隨分遣ひますネ、なんぼ**お紙幣のお化**だつて使ふ事を知つてるお客はまだ〳〵しほらしいわ、藝者に無心を言はれると逃げを張つて、若干かの枕金で、何度遊んで遣つたなんて、其樣な事を藝者買の通と心得てるのがお客さんだから涙も出ないネ、東京でも新橋となると千二千と言ふ無心を聽いて呉れるお客もざらにあるが、もう芳町柳橋となると五百圓が烏渡骨だわ、京城なんぞは先づ五十圓の無心を吹き掛け樣もんなら腰を脱かして、水天宮樣の御府でも飲まさなきや納ならないよ、それも其筈かネ朝鮮までお金をつかひに來る莫迦もないからね、そうと知りつゝ朝鮮なんぞ住み替ねて來る吾々の方が余ッ程どうかだつたネ、これも慾の間違ひか、思へばチヨンと木の頭で憂世じやなアと來たつて大向ふで賞め手も無いと言ふ處だわ、よんどーにちれつたいよ。

●青木堂の食堂開始

豫て新築中なりし京城本町一丁目青木堂の理想的食堂は漸やく落成し此の程より開業したるが階下は例の歐米各地の粹を蒐めたるデパートメントにて階上は大食堂及び小食堂等の設けあり多勢の宴會にも又た一人〳〵の食事にも適し居り且つ待合室化粧室等の設けさへありて席貸會及集會、相談會等には實費にて席貸をなす由なるが小食堂は尤も輕便に洋食一品づゝの誂へ其他朝日生ビール及びアイスクリーム其他コーヒー紅茶一杯にても注文に應ずる由